

F☆☆☆☆

コンフィックス

SM-7/SM-7P

シラン系浸透性吸水防止材



コンフィックス

SM-7/SM-7P

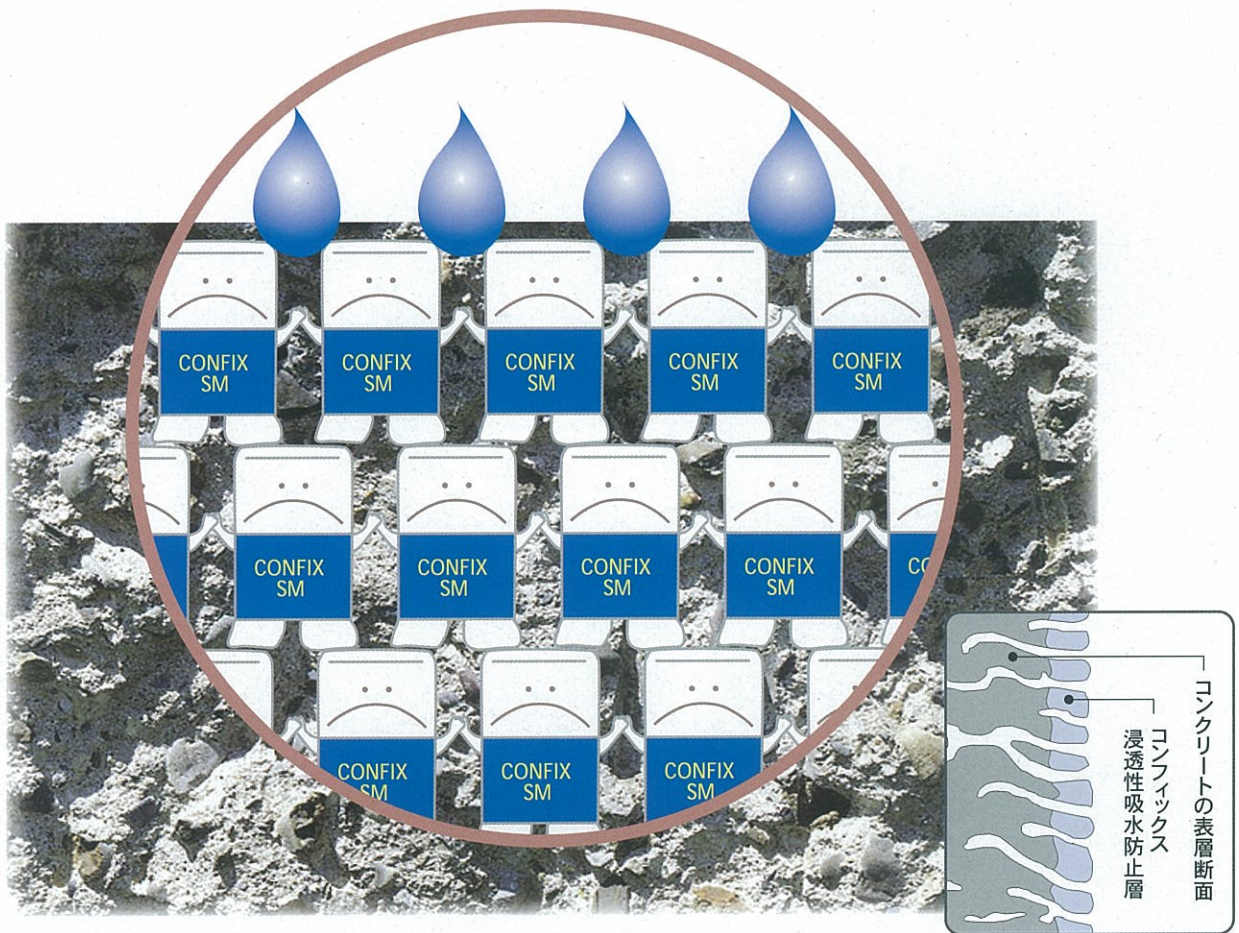
シラン系浸透性吸水防止材

分子のスクラムが水の浸水をシャットアウト

丈夫で長持ち—と呼ばれるコンクリート建造物も、内部に多くの毛細管空隙が存在し、水分・塩分による浸食作用や塩害などの影響を受けやすい一面があります。

コンフィックスSM-7はいつでも、美しく頑健に。コンクリートを守るため、躯体に深く浸透し、水の浸入を防ぐ画期的な保護材です。

コンクリート壁をそのまま露出する場合は**コンフィックスSM-7**、その上に各種仕上材を施工する場合やタイルの目地に施工する場合は**コンフィックスSM-7P**をご使用下さい。



処置が困難なマンション各戸のタイル張り玄関床の目地も、
吸水防止層でしっかりガード!!



水-劣化防止

劣化の大きな要因は、雨雪など大気中から浸入してくる水分・塩分です。コンフィックスSM-7の吸水防止層は、雨水の浸入を防ぎ、躯体内部の水分も放出します。



10Åの浸透力

一般にコンクリートの空隙は、数10Å～数1000Å(1Å=100万分の1mm)のおおきさといわれます。対してコンフィックスSM-7の分子直径はわずか10Å。表面張力も小さいため、すばやく躯体深部に浸透します。

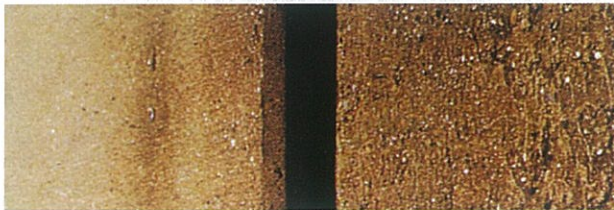


モルタル下地への浸透効果

効果の持続性

深く浸透したコンフィックスSM-7は、躯体成分と化学結合し強固な吸水防止層を形成します。紫外線、塩分、有害物質などの影響を受けにくく、安定した効果を長期間にわたって発揮することができます。

10年経過後のコンクリート



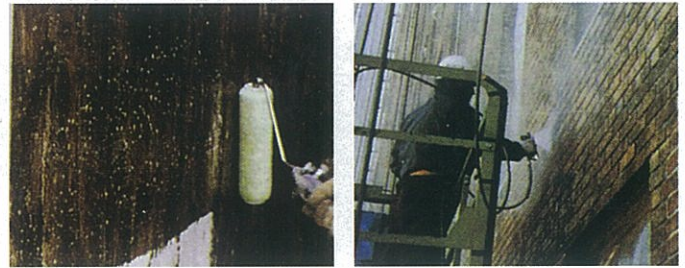
SM-7塗付
劣化が少なく、健全である

無塗付
劣化が著しく、スレーキングを起こしている

作業はサツと!!

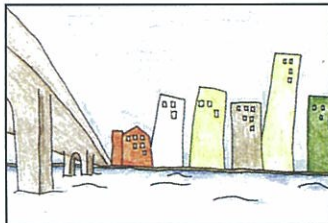
低粘度の液体だから、コンフィックスSM-7の施工方法はとても簡単。

ハケ、ローラー塗り、スプレーが可能です。



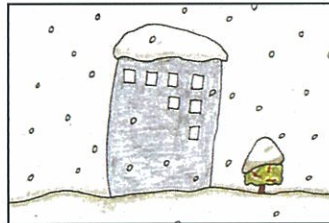
用途

塩害防止



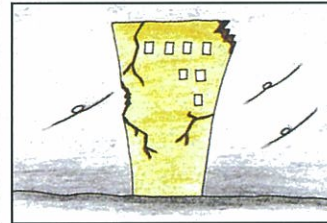
- 海浜地域
 - ・コンクリート建築物
 - ・港湾施設
 - ・鉄道・道路の橋脚、桁など

凍害防止



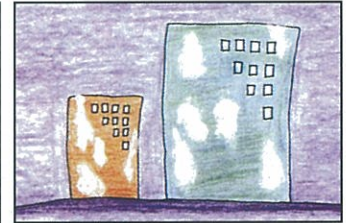
- 寒冷地域
 - ・コンクリート建築物
 - ・ダム、堤防
 - ・鉄道・道路の橋脚、桁など

劣化防止



- 一般建築物
 - ・コンクリート建築物
 - ・コンクリート二次製品

白華・汚染抑制



- 一般建築物
 - ・コンクリート建築物
 - ・コンクリート二次製品など

適応下地

現場打ちコンクリート PC ALC コンクリートブロック モルタル
石綿スレート れんが セメント2次製品 各種成形体 石材(大谷石等)

施工方法

材料	工程	処置	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	塗り重ね時間
—	下地の清掃・乾燥	塵埃、油、エフロレッセンス、レイタンスなどを除去する。表面は乾燥させる。	—	—	—
コンフィックスSM-7 塗料・塗材仕上げの場合は コンフィックスSM-7Pを 使用する。	塗付	吹付け、ハケ塗り または、ローラー塗り	一般の場合 0.3~0.4	2	1時間以上
			吸込みの大きい下地 の場合 0.5~0.6	3	

※吹きつけの場合は、吹付け圧1~2kg/cm²で、ノズルをできるだけ被塗面に近づけて塗付して下さい。

施工上の注意

- ①下地表面は濡れ色を示さない程度以上に、あらかじめ乾燥させて下さい。
- ②下地表面に付着しているほこり、油、エフロレッセンス、レイトランス等は、あらかじめ除去して下さい。
- ③塗布用具および容器は、清浄・乾燥したものを使用して下さい。
- ④コンフィックスSM-7、コンフィックスSM-7Pは、うすめずそのまま使用して下さい。
- ⑤塗付は必ず2回塗り、また吸込みの大きい下地(ALC、軽量コンクリートブロック等)は3回塗りにし、コンフィックスSM-7、コンフィックスSM-7Pを躯体内に充分浸透させて下さい。
- ⑥塗付量は下地の吸込み状態によって、工程表の標準塗付量と異なる場合があります。
- ⑦雨及び強風のときは施工を避けて下さい。
- ⑧直射日光で躯体表面の温度が40℃以上の場合は塗付を見合わせ、日陰に移ってから施工を始めるようにして下さい。
- ⑨使用した器具の洗浄はダイヤモンドを使用して下さい。
- ⑩塗付後、吸水防止機能が十分に発揮するには、3～7日の経過を要します。
- ⑪補修材(特に樹脂モルタル)とコンクリート面では防水効果が異なります。
- ⑫タイル目地モルタルへの施工はコンフィックスSM-7Pが適しています。
- ⑬塗装面周辺の植物には、コンフィックスSM-7、SM-7Pが付着しないように養生して下さい。

取扱い注意

- ①溶剤やシンナーは絶対に加えないで下さい。吸水防止効果を減少させる原因になります。
- ②施工前のコンフィックスSM-7、コンフィックスSM-7Pには、水が混入しないよう充分注意下さい。水と反応すると活性が低下します。
- ③コンフィックスSM-7、コンフィックスSM-7Pは換気のよい屋内(温度の低いところ)で保管して下さい。
- ④ガラス、プラスチック、金属及び木材に付着しても、直接害はありません。付着したコンフィックスSM-7、コンフィックスSM-7Pを除去する場合は、ダイヤモンドを使用して下さい。

火災予防と労働衛生管理

- ①コンフィックスSM-7、コンフィックスSM-7Pは危険物第4類アルコール類に該当します。取扱い及び保管には、充分火気に注意して下さい。
- ②室内作業では充分換気し、高濃度の溶剤蒸気を吸入しないようにして下さい。
- ③コンフィックスSM-7、コンフィックスSM-7Pの取扱いには、有機溶剤用保護手袋を着用し、皮膚に触れないようにして下さい。
- ④皮膚に付着した場合は、ただちに水または石けんで洗い流して下さい。

包装単位

コンフィックスSM-7 12kg缶
コンフィックスSM-7P 12kg缶

 **株式会社 ダイフレックス**

住所 / 〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
☎(03)5322-7020(代) FAX.(03)5322-7021
URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お問い合わせは、お気軽に本社までご連絡下さい。

取扱店